



第三四半期が終了し第四四半期へ

猛暑の8月が終わり、残暑の9月を迎えました。8月は気温が40°C近くとなる日があるなど酷暑を感じさせる日もあれば、最高気温が20°C後半と8月とは感じない日もあり、気温差のある月であったと感じました。ただ台風がほとんど本土に上陸せず、毎年の台風ルートとは違い関東沖を北上するルートとなるなど、今年の夏は昨年とは違う気候のように感じます。9月も残暑・酷暑になるのではと思いますが、自然災害にも注意しながら9月も頑張ってまいりましょう。

今年はオリンピック開催年に当たり8月からオリンピックの各競技が始まりました。毎日白熱した試合が続き、手に汗握る日々となりました。その中でも磐田出身の卓球女子・伊藤選手の活躍はとても喜ばしい結果でありました。団体で銅メダルとなりましたが、公言通りのメダル獲得で堂々とした試合展開をされるなど、とても力強いゲーム展開で非常に力が湧く試合がありました。また同じ男子卓球で、磐田出身の水谷選手も団体で銀メダルを獲得し、気迫あるプレーで観客・視聴者を魅了しました。団体競技の中に芽生える絆精神が良い結果をもたらした感じが致しますが、これはアポロにもある『和』の精神があったのでは感じる次第です。そしてさらにプラスして『信』の精神もまたあったのではと感じております。

私は『信』という言葉に重みを感じております。信は信頼・信用・信義・信実など、人と人との繋がりを意味しております。この信の心があればお互いが信頼でき、この信頼が信用となり強い絆に結び付くと私は感じております。この卓球もメダルを失いかけながらも最後にはメダルを獲得するなど、『和』・『信』の心があつた事で強き絆が結果となつたと思う次第です。私も強く絆を感じながら今期に残された期間、結果を求めて努めて行きますので、社員一丸となって頑張っていきましょう。

それでは体調管理には十分気を付けて9月1ヶ月間よろしくお願ひします。

社長 太田 聰

編集担当：島

編集担当：横井

先日閉幕したオリンピック、日本は過去最多となるメダル数を獲得し、連日ニュースなどで取り上げられていました。

因みに内訳は・・・・

金メダル12個 銀メダル8個 銅メダル21個 計41個

今回はテニスで96年振りのメダル獲得、柔道では52年振りとなる全階級メダル獲得、男子リレーでは初のメダル獲得、カヌー競技で日本人初のメダル獲得など、挙げればきりがないほどの素晴らしい結果になりました。個人的に印象に残ったのは女子レスリングの逆転勝ちの金メダルを見て最後まで諦めない精神力に感動、そして最後まで諦めない忍耐力にまた感動しました。また、靈長類最強の吉田沙保里選手の4連覇をかけたオリンピックでしたが、無念の銀メダル。試合終了のブザーが鳴り、マットに顔を埋め泣いている場面を見て目頭が熱くなりました。勿論、銀メダルでも素晴らしいことですが。一生懸命練習する、人の何倍も努力する、とことん突き詰める、とことん極める、絶対に諦めない、そういうことが出来る人だからこそ人に感動を与えるんだと思いました。

この4年に1度の大舞台が2020年に日本にて開催されます。リオオリンピックの閉会式では日本を代表するキャラクターのドラえもん、ハローキティ、最後にはスーパーマリオ扮した安倍首相が登場するなど、既に海外から大きな反響を呼んでいます。どんなオリンピックになるのか4年後が今から楽しみです。勿論、アポロにも。

